

宣言に至った経緯

本市では、男女共同参画社会の実現を目指し、平成16年3月に『とみぐすく男女共同参画プラン（以下、「第1次プラン」）』を策定して以降、平成23年3月には『第2次プラン』、平成31年2月には『第3次プラン』を策定し、さまざまな施策に取り組んできました。その実現には課題が多く、関連分野は幅広く複雑に絡んでいることから、長期的かつ横断的に取り組まなければいけません。

第3次プランでは「ジェンダーにとらわれない視点に立った保育・教育の推進（施策5）」等を重点施策に掲げていますが、社会の変化は大きく、現在は、性の多様性に関する社会課題への関心が高くなっており、それは国と沖縄県の計画や取り組みにも表れています。

国の第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月閣議決定）では、「第6分野（前略）多様性を尊重する環境の整備」において、「性的指向・性自認（性同一性）に関すること、（中略）社会全体が多様性を尊重する環境づくりを進めることが必要である」とされています。

沖縄県では、平成30年度に観光事業者向けにLGBT対応セミナーを実施、県立高校で制服の自由選択制を導入するなど多様な性に対しての具体的な取り組みが進められ、令和3年には「沖縄県性の多様性尊重宣言」を表明しています。

本市においては、第5次豊見城市総合計画（前期基本計画）（令和3年3月策定）の「施策分野2-3 男女共同参画社会の形成」のなかで、「LGBTを含む性の多様性に関する理解の促進など（中略）が一層求められています」とされ、「多様性を尊重する社会」を今後の取組方針としています。

その理解促進の取り組みとして、令和3年度は市民向けLGBTQ講座と市内3中学校向けに「性の多様性」をテーマにした講座¹を実施しました。中学生からは様々な意見が出ましたが、「LGBTの人たちも1人の人間だからそれでいいと思う」、「色んな人が色んな個性を持っているので、それに対して悪く言うのは違うと思った」等、性の多様性を素直に受けとめる内容が多くありました。

また、令和3年度本市男女共同参画会議では「多様性社会の理解を進めるため関係機関へ積極的な情報提供に努めること」との提言もありました。

こうした経緯があり、性の多様性に関する社会課題への取り組みが、今、必要とされていることから、また「これからの時代を変えていくのは子どもだけど今すぐ行動できるのは大人だから²」といった中学生の声にも応えるため、今回、「性の多様性を尊重するまち とみぐすく」を宣言します。

¹ 人権啓発活動地方委託事業として実施。事業受託団体は（NPO法人）沖縄NGOセンター。

² 文中『「性の多様性」をテーマにした講座』を受講した中学生の感想より。